

# ポルトガル月報

2018年3月

(本月報は報道などの公開情報を大使館で取りまとめたものです)

在ポルトガル日本国大使館

## 【主要ニュース】

【内政・外交】★民衆党、党大会を開催—クリスタス党首が再任／★ソウザ大統領、ギリシャを訪問

【経済】★2017年財政赤字、対GDP比2.96%

## 内政・外交

### ●シュタインマイヤー独大統領、ポルトガルを訪問

3月1～2日、シュタインマイヤー独大統領がポルトガルを訪問した。ソウザ大統領と会談し、英のEU離脱や欧州統合に関するプロセス、難民問題などで両国の立場を確認した。

ソウザ大統領は会談後の共同記者会見で、2017年に多数の死傷者を招いたポルトガルの大規模森林火災に独が表明した連帯の意に謝意を示した。経済関係については「ポルトガルでの独企業の存在感は大きく、(国民にも)歓迎されている。また、独におけるポルトガル企業の投資努力も見られている」と述べた。

シュタインマイヤー大統領は「両国は信頼にあふれた長きにわたる友情関係を築いている」とした上で、現在のポルトガルは、債務危機に伴う厳しい時期を乗り越えて「大きな成果を上げている」とたたえた。両大統領ともにフォルクスワーゲン社のポルトガル生産拠点パルメラ工場(リスボン市近郊)の労務問題については触れず、記者の質問に対し、ソウザ大統領が「独からの投資はポルトガルにとって重要。両国の関係が相互信頼に基づき中長期に続くことが大切」と答えた。シュタインマイヤー大統領はその後、コスタ首相と両国の投資促進に向けた二国間のアジェンダを確認した。

翌2日、両大統領は北部ポルト市の美術館を訪れ、独のノーベル文学賞作家ギュンター・グラス(故)の作品を集めた特別展示展のオープニング式典に出席したほか、モレイラ・ポルト市長を交えた昼食会の後、旧市街の散策を楽しんだ。

【写真】大統領官邸で

会談するシュタインマイヤー独大統領とソウザ大統領(ポルトガル大統領府HPより転載)



### ●ポルトガル・カーボヴェルデ、海洋経済で協力覚書

3月2日、ヴィトリノ・ポルトガル海洋大臣とゴンサルヴェス・カーボヴェルデ海洋経済大臣は、リスボン市内で海洋経済(ブルーエコノミー)分野の協力覚書を交わした。

本覚書は「2017—2021ポルトガル・カーボヴェルデ協力戦略プログラム」の一環。海上交通やインターモーダル輸送に関する情報システムの技術協力や、漁業・水産養殖業に関する支援などを定めている。

### ●外務大臣、欧州の民主主義について講演

3月5日、サントス・シルヴァ外務大臣は「欧州の民主主義の将来」と題してグルベンキアン財団(リスボン市)で開かれたカンファレンスで講演した。

同大臣は、欧州の民主主義に対する主な脅威として、①民主主義の理念と実践に対する権威主義的な歪み、②反欧州ナショナリズムの伸張、③欧州機関と欧州市民間の隔たりの3点を挙げた上で、欧州の民主主義を強化するには、欧州自身がこれらの脅威に打ち勝つことが重要との考えを強調した。

### ●フェロ・ロドリゲス国会議長、カーボヴェルデ訪問

3月5～6日、フェロ・ロドリゲス国会議長がカーボヴェルデを訪問した。ドス・サントス・カーボヴェ

ルデ議会の招待を受けたもので、両国議会の協力関係の強化が主な目的。本訪問にはプレーザ副議長（左翼連合）、カエイロ副議長（民衆党）、ポルトガル・カーボヴェルデ友好議員連盟副会長のセーザル議員（社会党）、ピンパオン議員（社会民主党）らが同行した。

6日、フォンセカ大統領、コレイア首相、首都プライア市のサントス市長らとの面談を含む全ての日程を終えたフェロ・ロドリゲス議長は、記者団に対し、本訪問の成果は「際立っていた」と振り返った。その上で、ポルトガル語圏諸国共同体（CPLP）における人の移動の自由化構想の一環として、特にポルトガル・カーボヴェルデ両国の企業家や学生による往来を高める上で、「（ポルトガルは）あらゆる政治的意思を有している」と述べた。一方、同構想についてはポルトガル・EU間の「連携が必要」との見方も示した。



【写真】カーボヴェルデの要人にあいさつするフェロ・ロドリゲス議長（左：ポルトガル議会HPより転載）

#### ★民衆党、党大会を開催ークリスマス党首が再任

3月10～11日、社会民主党（PSD）と前連立政権（2011～15年）を形成した右派野党の民衆党（CDS）は北部ラメゴ市で党大会を開き、クリスマス党首（元農業・海洋相）が党员投票で89.2%の信認を集め、再任を決めた。2期目で任期は2年。

クリスマス党首は「未来はここにある」とのスローガンが掲げられた壇上で、19年の次期総選挙を念頭に「我々は中道右派層の第一党になりたい。CDSは左派政権に対する唯一の選択肢である」と訴えた。

本大会に出席したリオPSD党首は、記者団に対し、「当然だが我々はCDSの対立政党」と述べた。一方、次期総選挙後に「必要となれば」CDSと再び手を組む可能性を否定しないとの考えも示した。与党・社会党（PS）のカタリーナ・メンデス副書記長は、中道右派層で第一党を目指すとしたクリスマスCDS党首の発言を「野心的」とした上で、「CDSは（プロサッカーのように）一部リーグへの昇格を目指しているが、（本大会では）具体的な問題を解決できるだけの、

具体的な施策は一切示されなかった」と批判した。

【写真】CD S党大会の様子（同党HPより転載）



#### ●ポルトガル、東京五輪の準備プログラムを正式発表

3月12日、ポルトガル政府と同国オリンピック・パラリンピック両委員会は、2020年の東京五輪に向けた準備プログラムを正式に発表した。本プログラムで承認された総予算は1850万ユーロ（注：24年のパリ五輪に向けた21年度分の準備予算含む）で、16年のリオ五輪より310万ユーロ増額された。

同日、ジャモール国立スポーツセンター（オエイラス市）で本プログラムの発表イベントが行われ、登壇したコスタ首相は、スポーツとオリンピック精神の柱として、社会的な包摂や平等の促進、科学技術の発展が重要と述べた。同首相はスピーチに先立ち、会場内に設けられたスポーツ先端科学技術に関する紹介ブースを一つひとつ訪れ、説明を丁寧に聞いて回った。

本イベントでは、同国オリンピック・パラリンピック委員会の両会長、ブランダン・ロドリゲス教育大臣がスピーチした。同大臣は88年にソウル五輪が開催された時に小学1年生で、同女子マラソンでポルトガル代表のロザ・モタ選手が金メダルを獲得したことに大きな感動を覚えたとの個人的なエピソードを織り交ぜながら、教育分野におけるスポーツ振興の重要性を訴えた。本イベントには新美駐ポルトガル日本国大使も出席し、ブランダン・ロドリゲス教育大臣よりの紹介を受けた。



【写真】スポーツ先端科学技術に関する紹介ブースを見て回るコスタ首相（左から2番目：同首相の公式ツイッターより転載）

#### ★ソウザ大統領、ギリシャを訪問

3月12～14日、ソウザ大統領はギリシャを訪問した。サントス・シルヴァ外務大臣や国会議員らが同行した。到着後すぐ、ポルトガル人コミュニティーの代表者らがアテネ市内のホテルで開いた歓迎レセプション

ョンに出席し、同国の暮らしぶりを尋ねた。

13日、ソウザ大統領はパヴロプロス大統領との会談後に開いた共同記者会見で、「昨日ユーログループ議長（センターノ財務大臣）が言及したように、今後数か月で（ギリシャに対するEUの）第3次支援プログラムが終了する。これはギリシャの経済や社会の展望が開けるものであり、我々にとっても大きな喜び」と述べた。その上で、ギリシャは「現在のように、より困難な時にこそポルトガルを頼りにして欲しい。そうした時に互いの距離は縮まるものである」と語った。

ソウザ大統領は続けてチプラス首相と会談し、両国関係は「大変強固で、自然かつ最良」とした上で、「ギリシャは将来の準備を進める上で重要なこの局面でポルトガルを頼りにすることができる」と述べた。これに対し、チプラス首相は「現在の両国関係を続けていきたい」と答えた。ソウザ大統領はその後、ヴチス国会議長と会談したほか、アテネ大学から名誉博士号を授与された。

14日には、国際移住機関（IOM）が管轄する同国の難民宿泊所を訪れたほか、アテネ市内の大統領官邸で「欧州のルーツと未来」をテーマにパヴロプロス大統領と公開討論を行った。



【写真】ソウザ大統領（左）とパヴロプロス大統領（ポルトガル大統領HPより転載）

【写真】難民宿泊所で難民と交流するソウザ大統領（同上）



### ●ポルトガル、元ロシア情報機関員襲撃事件に声明

3月13日、ポルトガル外務省は英南部で発生した元ロシア情報機関員襲撃事件を巡り、「ポルトガル政府は友好国かつ同盟国である英国との強固な連帯を表明する。また、その領土において、高度に洗練された神経剤の使用により、2人のロシア市民に対する殺人未遂が起きたことを強く非難する」と声明を発表した。

26日、同外務省は欧州各国のロシア外交官追放の動きを「しかるべく留意する」とした上で、「ポルト

ガルはEUの枠組みにおける協調こそ、現下の深刻な状況に対応する上で、最も効果的な手段であると信じる」との声明を出した。翌27日には、サントス・シルヴァ外相がポルトガルのニュース番組に出演し、「本日、駐ロシア・ポルトガル大使を協議のためリスボンに召還することを決定した」と説明した上で、「本プロセスは恐らく始まったばかりであり、エスカレートさせるような発言は慎むべき」との見解を示した。

### ●コスタ首相、欧州議会の本会議に出席

3月14日、コスタ首相は欧州の将来をテーマに開催された欧州議会（仏ストラスブール）の本会議に出席し、欧州における民主主義の強化を訴えた。

コスタ首相は同日、「欧州の未来について、我々は共通のビジョンを再確認することができた。民主政治とは、諸問題に応え、恐れに打ち勝ち、未来に対する希望を取り戻すことで、ポピュリズムと区別されるものである。保護主義や外国人嫌悪に基づき国境を閉鎖し、壁を建てることは欧州の選択肢とは決してならな



いだろう」などとツイッターに投稿した。

【写真】欧州議会で演説するコスタ首相（同首相の公式ツイッターより転載）

### ●ユーロソングージェン社の世論調査結果—3月

3月17日、週刊エスプレッソ紙はユーロソングージェン社が実施した世論調査結果を発表した。

今回は2月に最大野党・社会民主党（PSD）の党首がパッソス・コエーリョ前首相からリオ元ポルト市長に交替してから初めての世論調査で、同党の支持率は前回調査（1月）より1.5ポイント増の28.4%となった。

「理想の党首は誰か」との質問では、コスタ首相の支持率が70.9%、リオ党首が16.7%だった。

「2019年の次期総選挙でどの党も単独過半数を取れない場合、PSとPSDの大連立政権を支持するか」との質問では、有権者の見解はほぼ半数に割れる結果となった。

17年10月以降の政党別支持率は以下の通り。

【問】本日が選挙日ならばどの政党に投票するか。

%	2017年			2018年		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
PS	41.0	40.0	40.2	41.3	未実施	41.5
PSD	28.0	28.4	27.9	26.9		28.4
BE	9.0	8.7	8.6	8.5		7.7
CDU	7.5	6.9	7.0	7.0		7.3
CDS	6.0	6.6	6.9	6.9		6.6
PAN	1.4	1.7	1.7	1.8		1.5

■調査期間：3月8～14日、対象者：ポルトガル本土居住の18歳以上の有権者1170人、調査方式：電話帳から固定電話番号を無作為に抽出、回答率：86.3%、統計上の誤差：3.08%

■PS=社会党、PSD=社会民主党、BE=左翼連合、CDU=統一民主連合（ポルトガル共産党・緑の党）、CDS=民衆党、PAN=人と動物と自然の党

### ●社会民主党（PSD）、書記長を交代

3月19日、社会民主党（PSD）のリオ党首は、2月に就任したドウアルテ書記長が学歴詐称により18日付で辞表を提出したことを受け、後任にシルヴァーノ議員（61）を後任に充てる人事を発表した。同議員の専門職は弁護士で、北東部ミランデーラ市の市長職を16年間務めたことがある。

リオ党首は22日、ブリュッセルで開催された欧州議会最大会派の欧州人民党（EPP）の会合に出席した。2月に党首に就任してから初めての外国訪問で、EPP所属のユンカー欧州委員会委員長やトウスク欧州理事会議長、タジャニ欧州議会議長、メルケル独首相、ラホイ・スペイン首相らと顔を合わせた。

### ●政府、リスボン・ポルト都市圏サミットを初開催

3月20日、ポルトガル政府は地方分権化に向けた議論を深めるため、リスボン市近郊のケルース宮殿で「リスボン・ポルト都市圏サミット」を初めて開催した。ソウザ大統領をはじめ、両都市圏に属する計35市の市長が集まり、地方財政、交通、住宅問題などについて幅広く意見を交わした。

ソウザ大統領は本サミットで、地方分権化の推進は「単なる合意ではなく、不可逆的でなければならない。

政権の変化や経済・財政環境に左右されてはならない」と述べた。コスタ首相はサミット終了後、「ポルトガルがより力強い国となるには、力強い都市圏が必要。同時に我々は国家の結束のため、リスボン・ポルトの両都市圏に加え、内陸部にも活力を与えていく必要がある」とツイッターに投稿した。

【写真】リスボン・ポルト都市圏の市長と話すコスタ首相（中央：同首相の公式ツイッターより転載）



### ●コスタ首相、EU首脳会議に出席

3月23日、コスタ首相はブリュッセルで開催されたEU首脳会議（22～23日）に出席した。

コスタ首相は会議の成果について「重要な面が3点あった」とし、第一に、ポルトガルがマクロ経済過剰不均衡の対象国リストから外れることが確認されたこと、第二に、ポルトガル、仏、スペインの3か国の首脳及びEU法が適用される離島の代表者を交えた会合が初めて開催され、離島における農業や漁業の振興に関する議論を行ったこと、第三に、本会議に合わせたユーロ圏首脳会議で、ユーロ圏改革の中心であるユーロ圏独自の予算能力について、初めて集中的に議論することができたことである旨述べた。

【写真】ユンカー欧州委員会委員長（左）、マクロン仏大統領（右）と会談するコスタ首相（同首相の公式ツイッターより転載）



### ●リベイロ外務副大臣、アルゼンチンを訪問

3月22～26日、リベイロ外務・国際協力副大臣はアルゼンチンを訪問した。24～25日に同国メンドーサ市で開かれた第59回米州開発銀行（IDB）の年次総会への出席が主な目的。

同副大臣はこのほか、ポルトガル・アルゼンチン両国の経済関係の強化に関し、ライモンディ・アルゼンチン筆頭外務副大臣のほか、アルゼンチンに進出しているポルトガル企業の代表者らと会合を行った。

## ●ポルトガル・中国、外相の相互訪問を本年予定

3月23日、サントス・シルヴァ外相はリスボン市内で開催された中国の「一帯一路」構想のプロジェクトファイナンスに関する国際カンファレンスに出席した際、記者団に対し、5月に中国外相のポルトガル訪問が予定されていると明らかにした。合わせて、サントス・シルヴァ外相は、2019年度政府予算案の審議日程に拠るとしつつも、10月末または11月初頭に自身が訪中する方向で調整していると述べた。

本カンファレンスには、蔡潤駐ポルトガル中国大使が出席し、開会セッションでポルトガル・中国の両国関係は「歴史的に最良の時期にある」とあいさつした。

## ●政府閣僚ら、ポルトガル各地で森林清掃

3月24日、ソウザ大統領、コスタ首相及び多数の閣僚がポルトガル北部から南部をそれぞれ訪れ、消防隊員らとともに、森林の伐採や清掃活動を行った。2017年の大規模森林火災で多数の死傷者が発生した悲劇を今夏も繰り返さないことが目的。

ポルトガル政府は森林清掃費として約1400万ユーロを計上し、森林所有者に対しては5月31日までに清掃を終えるよう義務付けている。清掃対象の森林は全土で3000ヘクタールに及ぶ。

同日、南部アルガルヴェ地方で清掃活動を行ったコスタ首相は「継続的な森林伐採作業は火災リスクを軽減する上で大変重要。この作業を行えば、我々が明日抱えるリスクは小さくなる」とツイッターに投稿した。

【写真】消防隊員を激励するコスタ首相（同首相のツイッターより転載）



## ●ソウザ大統領、中央アフリカで自国兵士を激励

3月26日、ソウザ大統領は中央アフリカを訪れ、「国連中央アフリカ多面的統合安定化ミッション（MINUSCA）」に派遣しているポルトガル軍兵士159名を激励した。ロペス国防大臣が同行した。

ソウザ大統領は自国兵士を前に「（ポルトガル軍は）より困難な状況においても、陸・海・空それぞれで世界最高の軍隊である。24時間365日、問題を解決、判断、介入する能力を持っている。それこそがポルト

ガル軍である」と述べた。兵士159名のうち、21名は2月中旬に、残り138名は3月初旬に現地に派遣された。

ソウザ大統領はこのほか、中央アフリカ軍の訓練と助言を担う「EU訓練ミッション（EUTM）」の部隊を視察した。隊員153名のうち45名がポルトガル軍兵士で、指揮官もポルトガル人将校が務めている。

ソウザ大統領は訪問中、トゥアデラ大統領らと会談したほか、地元住民らと交流した。

【写真】中央アフリカ国民から歓迎されるソウザ大統領（中央：ポルトガル大統領府HPより転載）



## ●ポルトガル語圏諸国、中国と司法分野の協力を強化

3月26日、ポルトガルのエンリケス・ガスパール最高裁長官は、中国南部の広州で開催された「中国・ポルトガル語圏諸国最高裁長官会議」に出席した。中国最高人民法院のコミュニケによると、同長官は「（中国・ポルトガル語圏諸国間の司法制度における）協力と交流の基盤を築き上げる上で適切な時期にある」とした上で、「ポルトガルは中国との対話及び情報共有を推進していく用意がある」との見解を示した。

周強・最高人民法院長は、同コミュニケで「（「一帯一路」構想を）推進して以来、中国・ポルトガル語圏諸国間の司法協力は、これまで以上に強化されている」とした上で、「中国最高人民法院は、事例研究、判事教育、情報共有、知的財産権の保護、国境を越えた犯罪の戦いにおいて、ポルトガル語圏諸国との間でより実務的な協力をを行う用意がある」とした。

本会議には、ポルトガル語圏諸国からポルトガルのほかに、アンゴラ、伯、赤道ギニア、モザンビーク、サントメ・プリンシペの最高裁長官が出席した。

## 経済

### ●リスボン国際観光フェア（BT L）の開催

2月28～3月4日、ポルトガルの地方自治体や旅行会社、世界各国が観光ブースを出展する「リスボン国際観光フェア（BT L）2018」が開催され、連

日多くの来場者で賑わった。今回は第30回の節目を迎え、総来場者数は約7万7000人。業界関係者を対象にした前半3日間の来場者数は前年より1000人多い3万9000人と好調だった。

日本政府は、訪日旅行促進事業（ビジット・ジャパン事業）の一環として、本年もブースを出展し、訪日旅行に関するパンフレットの配布や共同出展者によるプレゼンテーションを行った。書道、折り紙、浴衣の試着、空手・相撲・古武道デモンストレーション、360°VR体験、弦楽器サルテリオの音色に合わせた日本民謡の独唱なども披露し、来場者の関心を集めた。

初日の28日、会場を訪れたコスタ首相は「観光業はポルトガル経済の基盤であり、我々の領土と伝統製品の保護に寄与している。雇用創出の大きな柱であり、経済や輸出の成長にも重要な貢献を果たしている」とツイッターに投稿した。



【写真】BTLの会場を訪れたコスタ首相（同首相の公式ツイッターより転載）

#### ●欧州委員会副委員長、ポルトガルの経済成長に期待

3月1～2日、ドンブロウスキス欧州委員会副委員長がポルトガルを訪れ、コスタ首相やセンターノ財務大臣らと会談し、ポルトガル経済の状況、EU経済通貨同盟の完成に向けた次のプロセス、2020年以降のEU予算の交渉などについて意見を交わした。

同副委員長はリスボン空港に到着した際、「ポルトガルの状況はより良い方向に変わった。私の願いは、全ポルトガル人がそれぞれのポケットで経済成長を実感し始めること。そのためにはポルトガル経済をより強固にしていく必要がある」などとフェイスブックに投稿した。

【写真】会談するドンブロウスキス副委員長（左）とコスタ首相（同首相の公式ツイッターより転載）



#### ●政府、経済の対外競争力向上に向けた政策を協議

3月19日、ポルトガル経済の対外競争力向上に向けた政策を検討する「経済国際化戦略委員会」（コス

タ首相主催）がリスボン市内で開かれ、関係閣僚や経済団体の代表者らが、英のEU離脱に伴うポルトガル経済への影響や、自国産品の輸出促進に向けた方途などを話し合った。

ブリリヤンテ・ディアス国際化担当副大臣は、英に本社や生産拠点を置く外国企業にとって、EU及びユーロに加盟しているポルトガルは移転先に適しているとして、対外的なアピールを展開していると説明。また、農産品の輸出拡大に向けて「政府は40以上の新市場の開拓に取り組んでいる。メキシコへの洋なし輸出に向けた手続きは完了し、ほかに重要な例として、中国への豚肉輸出に向けた交渉が終わり、最終確認を待つ段階にある」と報告した。

【写真】経済国際化戦略委員会の様子（コスタ首相の公式ツイッターより転載）



#### ●S&P、ポルトガルの信用格付を維持

3月19日、米大手格付会社S&Pはポルトガルの信用格付を「BBB-」（投資適格級の最下限）、格付見通しも「安定的」に据え置いた。

S&Pは2017年9月、ポルトガルの信用格付を投機的水準の「BB+」から「BBB-」に1段階引上げたが、今回、更なる格上げには公的債務をより早く削減させ、財政の安定化を図ることが重要と指摘した。その上で、ポルトガルは21年までに平均2%の経済成長が見込まれるとし、対GDP比公的債務は18年に122.3%、19年に119.8%、21年に114.3%に低減すると予測した。

#### ●ポルトガル商業銀行、アリペイと提携

3月22日、ポルトガル商業銀行（BCP）は中国の電子商取引（EC）最大手アリババグループの電子決済サービス「支付宝（アリペイ）」と提携することで合意したと発表した。

2017年に25.7万人（前年比41%増）を数えたポルトガルへの中国人観光客の増加などを踏まえたもの。BCPの筆頭株主は、同株式25.2%を握る中国の民営投資会社「復星国際」。

## ★2017年財政赤字、対GDP比2.96%

3月26日、ポルトガル国立統計院（INE）は2017年の対GDP比財政赤字を2.96%と発表した。このうち2.04%は、国営ポルトガル貯蓄銀行（CGD）の自己資本増強計画の一環で、ポルトガル政府が公的負担した39.4億ユーロを反映しており、この影響を除くと0.92%だった。政府は17年10月の時点で同1.4%を目標に据えていた。

同日、センテーノ財務大臣は記者会見を開き、0.9%の実績を念頭に「過去数十年間で最高の経済的・財政的パフォーマンスだった」と述べた。CGDへの公的支援については「CGDの未来に対する投資であり、リターンを得られるものである。ポルトガル人の貯蓄とポルトガルの金融システムの安定化において最も重要な投資であった」と説明した。

なお、16年の対GDP比財政赤字は2.0%、15年はファンシャル国際銀行（BANIF）救済に伴う公金投入を反映して4.4%だった。

【写真】記者会見するセンテーノ財務大臣（ポルトガル政府プレスリリースより転載）



## ●ポルトガル中銀、経済指標見通しを発表

3月28日、ポルトガル中央銀行は2018～20年の経済指標見通しを発表した。概要は以下の通り（2017年は実績値）。

(%)	2017年	2018年	2019年	2020年
経済成長率	2.7	2.3	1.9	1.7
輸出	7.9	7.2	4.8	4.2
輸入	7.9	7.7	5.4	5.0
失業率	8.9	7.3	6.3	5.6
インフレ率	1.6	1.2	1.4	1.5

(了)